

令和4年度 4歳児 「5歳進級に向けて」

1. 期間 2月～3月

2. 設定の理由

1 学期には、好きな遊びの中で5歳児の遊びに招待してもらったり、~~5歳児と一緒に砂山で遊んだり、リレーや鬼ごっこをしたりして~~、5歳児と関わりをもつ中で少しずつ互いに親しみを持ち始めていた。また、忘れ物を届けてもらったり、~~こけた~~**困った**時に、「大丈夫？」と声をかけてもらったりして、5歳児を身近に感じたり優しさを感じたり**している子どももいた**。するようになる。

2 学期には、運動会では、リズム表現でブリッジや側転の技に挑戦する姿、自分達でリレーの用意をする姿、リレーで懸命に走り、バトンを繋ぐ姿など、5歳児の頑張りを見て、憧れや来年への期待を感じて**いた**。また、5歳児がたき火をして焼き芋を焼き、届けてくれたり、お店屋さんごっこに招待してもらい、**案内をしてもらって**作ったものを買ったり、**ケイドロをして一緒に遊んだり**する中で、5歳児と**過ごす楽しさや5歳児の**気遣いを感じたり、~~楽しい思い出ができた~~りして、5歳児とのつながりをより感じ**てきている**ようになる。

3 学期には、5歳児が発表会に向けてグループで取り組んでいるのを見たり、発表会の前日に見せてもらったりして、馴染みのある5歳児も含めて、頑張っていることを感じたりすごいと思ったりするようになる。そして、~~年長代々最高学年である組の子どもたちが、自分たちの役割として取り組んでいるうさぎの世話を引き継ぐことになるころから、発表会を終えて~~5歳児がもうすぐ幼稚園を修了すること、自分達も年長組に進級することを**意識するようになってくる**。**知ると、年長児のためにしたいこと、伝えたいこと教わりたいことを考えるようになる。**

そこで、~~進級に向けての取り組みとして、もうすぐ5歳児が幼稚園を修了することを知って、~~大きくなった自分たちの成長を感じたり、誇らしく思ったり、年長組になることを楽しみにしたりする気持ちをも**ってほしい**。そして、ち、修了していく5歳児のために、お祝いの気持ちをもってしてあげたいと思うことができるよう、5歳児との思い出を振り返り、5歳児への様々な気持ちを感じながら、~~修了式に参加して、~~その思いを言葉にして伝える機会を作ったり、修了に伴う看板**作り**や贈り物**作り**を心を込めて**作る**機会を作ったり、**うさぎの世話の仕方を教わったり**したいと考える。

3. ねらい

- | | |
|---|-------------|
| ① 5歳児の発表会を見ることや、 4月から年長組になることやうさぎの世話をすることを楽しみにしたり、 うさぎの世話の仕方を覚えておきたい、年長児をお祝いしたい、こんな年長児になりたいと思ったりする。 | 自ら決める・選ぶ |
| ② もうすぐ5歳児が修了していくことや、次は自分達が年長組になること や、お別れ会をすること を知り、大きくなった自分を感じたり、誇らしく思ったり、 もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しいと思う たりする。 | 自分に満足する |
| ③ うさぎの世話の仕方を教えてもらってできたことや、5歳児への贈り物を作ったことを嬉しいと思う。 うさぎの世話の仕方を知って、自分達が することに自信をもつ。 | 自分に満足する |
| ④ 5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを感じたり、5歳児に対しての感謝の気持ちを感じたりする。 | 他者という喜びを感じる |
| ⑤ 5歳児がうさぎの世話や焼き芋、お店やさんを頑張ってくれたことを思い出したり、発表会を見せてもらったり、一緒に遊んだりして、5歳児の頑張りや優しさを感じ、嬉しく思ったり憧れたりする。 | 他者のことを知る |
| ⑥ お別れ会でお祝い と 感謝の気持ち など を伝えようと思 ったり い、伝えたいことを考えて言おうと したり する。 | 自分のことを伝える |

- ⑦ 5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちを持ち、送辞の言葉を心を込めて言おうとしたり、贈り物~~や式の看板~~を作ってあげたいと思ったりする。 他者のことを考えて行動する
- ⑧ 送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えられるように、言葉を覚えて言おうとしたり、友達と息を合わせようとして、~~自分のできるところを考えてしたり、必要だと思ふことをしようとしてたり~~する。 人とものごとをすすめる
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑨ うさぎの世話について関心を持ち、居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、世話をしようとしてたりする。 生き物・いのちをみつめる
- ⑩ ~~素敵なお模様、きれいな模様、楽しい模様など、思い描いた模様になるように、色や線の太さ細さを組み合わせ描くことを楽しむ。~~ 造形にあらわす
- ⑩ ~~思い描く春をイメージしたり春を感じたりしながら~~春の生き物や植物に近づくように、看板の飾りを作ることを楽しむ。 造形にあらわす
- ⑪ 看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたり必要な文字を考えたりして、看板の文字を書くことを楽しむ 言葉・語句を活用する

4. 展開

もうすぐ5歳児が修了し、~~自分達が年長組になること~~ていくことを知り、5歳児への憧れや大きくなった自分を感じる

A【5歳児の発表会を見せてもらう】

- ・5歳児の発表会を見ることを楽しみにする
- ・発表会を見せてもらう

5歳児を送るためにできることをする

B【贈り物を作る】

- ・ペン立ての模様を描く

C【5歳児を送る言葉（送辞）を考える】

- ・修了式に参加することを知る
- ・5歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを出し合ったりする
- ・送辞の言葉をみんなで繰り返し言う

D【修了式の看板を作る】

- ・看板を見る
- ・文字を読んだり書いたりする
- ・飾りを作る

5歳児がしてくれていたことを自分達がしようとする

E【うさぎの世話を引き継ぐ】

- ・もうすぐ5歳児が修了していくことを知る
- ・5歳児がしているうさぎの世話を見たり、教えてもらった

5歳児を送り、大きくなった自分を感じながら年長クラスへの期待をもつ

G【5歳児の環境を体験する】

- ・5歳児の園庭に行って遊ぶ
- ・5歳児の保育室を見せてもらう

F【お別れ会をする】

- ・送る言葉（送辞）を言う
- ・年長児のお別れの言葉を聞く
- ・年長児の歌を聴く
- ・贈り物を渡す
- ・お別れをする

A【5歳児の発表会を見せてもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・5歳児の発表会を見ることを楽しみにする ・発表会を見せてもらう	○5歳児の発表会を見ることを楽しみにする④ ○5歳児の発表会を見て、5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりする⑤	◎発表会を見ることを楽しみにできるように、自分たちよりも先に迎える5歳児の発表会について、グループの友達と発表することやいろいろなプログラムがあることなど、自分たちの発表会との違いを話したり、教師の楽しい気持ちを話したりする。 ◎5歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりするように、自分達で考え決め、力を合わせてきた過程を知らせたり、していることの詳細を言葉にしたり、一緒に驚いたり、子どもの感動に共感したりする。

B【贈り物を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・ペン立ての模様を描く	○5歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、贈り物を作りたいと思う⑦ ○素敵な模様、きれいな模様、楽しい模様など、思い描いた模様になるように、色や線の太さ細さを組み合わせて描くことを楽しむ⑧ ○5歳児が喜んでくれる贈り物を作ったことを嬉しいと思う⑨	*贈り物にふさわしい明るくきれいな配色になるように、絵具の色を選んでおく。 ◎修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、贈り物を作ろうと思えるように、修了式に手渡す贈り物であること、どんな気持ちで受け取ってほしいか尋ねたり一緒に考えたりする。 *贈り物にふさわしい明るくきれいな配色になるように、絵具の色を選んでおく。 *思い描いた模様になるように、組み合わせを様々な試せるように、用紙をたくさん用意しておく。 ◎思い描いた模様に近付くように描くことを楽しめるように、どんなイメージで描いているのかを尋ねたり、工夫しているところに感心したりする。 ◎贈り物が作れた嬉しさを感じられるように、教師が感じるそれぞれの素敵などところを伝えたり、きっと5歳児が喜んでくれるであろう期待を伝えたりする。

C【5歳児を送る言葉（送辞）を考える】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・お別れ会に参加することを知る ・5歳児との思い出を振り返ったり、気	○お別れ会をすることを知り、大きくなった自分を感じる② ○5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを感じる④	◎大きくなった自分を感じられるように、幼稚園を修了していく5歳児を送るお祝いの会があることを話す。 ◎5歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出せるように、どんなことを一緒にしてきたかを具体的な遊びや生活、行事をあげながら一緒に思い出したり、嬉しかった気持ち、楽しかった気持ち

持ちを出し合ったりする ・送辞の言葉をみんなで繰り返し言う	○ 5 歳児に対しての感謝の気持ちを感じる④ ○ 5 歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、送辞の言葉を心を入れて言おうとする⑦ ○ 送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えられるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり自分で考えたりして自分のできることを考えてしたり、必要だと思いうことをしようとしてたりする⑧ ○ どんな年長児になりた いか考えたり頑張りたい ことを決めたりする ①	ちを出し合ったりする場をもつ。 ◎感謝の気持ちを感じられるように、5 歳児にしてもらって嬉しかったこと、ありがとうと言いたいことを、どんな場面だったかを含めて思い出す場をもち、子どもの気持ちに共感する。 *子どもたちの、5 歳児への思いを修了式においてみんなで一緒に伝えられるように、送辞の言葉としてまとめる。 ◎送辞の言葉をお祝いの気持ちをもって心を込めて言おうと思えるように、修了式の場合は、5 歳児に対して、みんなでおめでとうの気持ちで送り出す場であることを話したり、みんなの気持ちを集めた言葉を伝えることで、修了していく 5 歳児がどんな気持ちになってほしいかを尋ねたり一緒に考えたりする。 ◎自分のできることを考えてしたり、必要だと思いうことをしようとするように、 どうしたらみんなで心を込めて気持ちよく伝えられるか考えられるように、尋ね、 考えを出している子どもの言葉を聞かせたり、考えようとしていることや必要だと思いうことをしようとしていることを具体的に言葉にして褒めたりする。 ◎自分のなりたい姿や年長児になったらしたいことなどを思い浮かべられるように、今の年長児がしてくれてたことなどを思い出している場面で、自分達はどんな年長児になりたいと思っているかや何を頑張りたいと思っているのかを尋ねたり、頑張ろうと思っていることに驚いたり応援していることを伝えたり言葉にまとめて決意を確認したりする。
---	---	---

D 【修了式の看板を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・看板を見る ・文字を読んだり書いたりする ・絵を描く	○ 看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたりする⑩ ○ 看板を作ることを知り、看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気持ちが伝わるように考えて、を込めて修了式の看板の絵を描いたり文字を書いたりこうとしてたりしようとする	* 文字に興味をもったり書いたり書いた文字を並べてみてそれぞれの文字の特徴を感じたりするよう、何度も試せる十分な紙を用意したり手本の文字を見られるように置いておいたりしておく。 ◎入学式、修了式に立てるための看板であることを知り、看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気持ちを込めてが伝わるように絵や文字を描いてみたいと書こうとしてたりする思えるように、昨年度の看板を見て、文字の意味を伝えたり、幼稚園の遊びの振り返りや、幼稚園の自然を感じられるなど、5 歳児がどんな絵で喜んでくれるか

	⑪ ○思い描く春をイメージしたり春を感じたりしながら春の生き物や植物に近づくように看板の飾りを作ることを楽しむ。⑩	一緒に考えたりする。何文字含まれているか数えたり、子どもの名前と同じ文字が使われていることを言葉にしたりする。 *春をイメージできるよう、春の生き物や植物が載っている本を飾っておく。 ◎春をイメージしたり春を感じたりしながら飾り作りを楽しめるよう入学式や修了式が春にあることを伝えたり、春はどんな季節か尋ねたり、そのイメージに合わせて作っている飾りの工夫しているところを褒めたりする。 ◎子どもが思い描く飾りに近づくよう作ることを楽しめるように、どんなイメージで作っているのかを尋ねたり、工夫しているところに感心したりする。
--	--	--

E【うさぎの世話を引き継ぐ】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・もうすぐ5歳児が修了し、ていくていく自分達が年長組になることを知る ・5歳児がうさぎの世話を教えてくれることを知る ・5歳児がしているうさぎの世話をしたり、教えてもらったりする	○もうすぐ5歳児が修了し、ていく自分達が年長組になることを知り、大きくなった自分を感じる② ○5歳児が世話の仕方を教えてくれることを楽しみにしたり、うさぎの世話の仕方を知りたい、できるようにしたいと思う① ○うさぎの世話について関心をもつ⑨ ○5歳児がしていることを見て、今までの頑張りに気付く⑤	◎大きくなった自分を感じられるように、もうすぐ4歳のクラスが終わることや、同時に5歳児が修了していくことを話したり、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したり、教師が思う今までの子どもの頑張りを話したり、振り返ることで子どもが感じている気持ちに共感したりする。 ◎5歳児が世話の仕方を教えてくれることを楽しみにしたり、自分達でうさぎの世話をしあげたい、うさぎの世話ができるようになりたいと思うように、幼稚園のうさぎについて話したり、うさぎがいつも元気なのは誰が世話をしているからか尋ねたり、もうすぐ5歳児が幼稚園を修了していくこと、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したりする。 ◎うさぎの世話について関心をもてるように、教師自ら関心をもって見る姿を見せたり、5歳児が世話をしているところを一緒に見たり、どんなことを何のためにしているか具体的に言葉にして聞かせたりする。 ◎5歳児の今までの頑張りに気付いたり、すごいと思ったりするように、うさぎの世話をしている5歳児の様子を一緒に見ながら、うさぎのために必要なことを考えながらしているところや、継続的に毎日しているからうさぎが元気でいられることを話したり、世話の手順をよく考えているところや手際よさや丁寧にしている様子を伝えたりする。 *互いのしていることが見やすく、世話の仕方について話を聞いたり尋ねたりしやすいように、5歳児、4歳児ともに、4、5人ずつのグループを作り、1グループずつ組み合わせる。

	○うさぎの居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、しようとする⑨ ○うさぎの世話を教えてくれる5歳児の優しさを感じる⑤ ○うさぎの世話の仕方を教えてもらってできたことを嬉しいと思う世話の仕方を知り、自分達がすることに自信をもつ③	◎世話の仕方について、4歳児が実際にやってみることで分かっていけるように、5歳児が4歳児の傍について一緒にするところを見守り、5歳児に対して、何のためにしているのかを4歳児に伝えることや、4歳児が自分でできるようにさせてあげることを促したりする。 ◎5歳児の優しさを感じられるように、4歳児を気遣いながら話しているところや、丁寧に教えてくれているところなどを言葉にする。 ◎うさぎの世話の仕方を教えてもらってできたことを嬉しいと思えるように世話の仕方を知り、自分達がすることに自信をもてるように、教えてもらってどんな気持ちかを尋ねたり、5歳児になるからこそ任せてもらえることを話したりする。教えてもらう前と比べてどうなったか尋ねたり、できるようになった姿を具体的に言葉にしたりする。
--	--	---

F【お別れ会をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・送る言葉（送辞）を言う ・贈り物を渡す ・お別れをする	○お別れ会をして、お祝いの気持ちを伝えようと思う⑥ ○お別れ会での自分達の頑張りを感じたり、年長児からの励ましももらったりして誇らしく思う②	◎お別れ会で、お祝いの気持ちを伝えようと思えるように、もうすぐお別れであることを伝えたり、今まで4歳児として、5歳児のために準備してきたことを振り返ったりする。 ◎お別れ会で年長児に喜んでもらったり、励ましの言葉をもらったりして嬉しく思ったり誇らしく思ったりするように、何度も頑張って練習してきた送る言葉を言えたことや、5歳児に贈り物を渡して喜んでもらえたことなど、お別れ会を振り返る場をもつ。

G【5歳児の環境を体験する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成◎教師の援助
・5歳児の園庭に行き遊び ・5歳児の保育室を見せてもらう	○もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思う② ○4月から年長組になることを楽しみにする①	◎もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思えるように、5歳児の園庭で遊ぶ機会をもつ。 ◎4月から5歳児になることを楽しみにできるよう、年長組の園庭で一緒に遊びながら、固定遊具の楽しさを共有したり、保育室にあるものを一緒に見ながら、年中組の保育室との違いを尋ねたり、園庭の梅を見て梅干し作りをすることを知らせたりして、楽しみな気持ちに共感する。